

アンケート結果を受けて改善したいところ 【創造科学系】

難易度が高いという評価をする学生がやや多いですが、これを易くするというのではなく、難易度が高いと感じないようにうまく導く方法を考えていきたいです。

問1「この授業で、新しい考え方や知識・技能が身についた。」に90%以上の学生がそう思うと答えているので授業の成果は達成できていると思う。ただ、作業机が隣同士近くて通りにくく、遠い学生に指導しに行きにくいのが残念である。

アンケートの問1～7がアクティブ・ラーニングに関する質問であり、問8～11は教員と受講者の意思の疎通、コミュニケーション、授業資料等に関わる質問であり、問12は継続して学ぶ意欲を問う調査であると捉えている。昨年、独自に同じアンケート調査をしたときの結果と分析については、本学紀要『アクティブ・ラーニングの効果に関する研究 — 教員養成における図画と絵画指導を通して —』にまとめた(愛知教育大学研究報告. 教育科学編. 2018, 67(1), p. 221-228)。本年度の授業アンケート結果からは、授業外学習指示を守らない学生が半数近くいたので、復習として課題を出すか、予習をさせるかをじっくり考えてみたい。また、絵を描くことをどうしても好きになれない学生、絵に興味関心を持ってない学生、英語によるコミュニケーションに意欲的になれない学生などを今後どのようにフォローするかを工夫したい。

今回、アクティブ・ラーニングのため、レポート(A4サイズ1頁)を持参し授業に臨む方法を10回行った。「宿題が多い」との回答者が1名、ただし「勉強になった」とあったので回数・分量を検討し続けていきたい。(M1A)

課題の意味が十分に伝わっていないところがあるので、伝えかた、例示の方法を考える。もっと、学生が自分自身を振り返ることができるように体験することを増やしていきたい。一人一人にさらに自分の考えを述べさせたり記述させたりする機会を増やし、①見たこと、経験したこと②それを通して感じたこと。考えたこと③そこから自分で決断について意識をさせることを通して一人一人の学びの質をあげる。

問8については、気をつけたい。

教材教具が分かりやすいかについては、配付資料を改善し、教育実習や現職になっても使える資料として、具体的な教材例を精選していきたい。

教材・教具(板書、プロジェクター、配布資料)をより分かりやすいものへ改善していきたいと考えています。また、質疑や討論のコメント等、学生とのコミュニケーションの改善等に努めたいと思います。

授業はわかりやすさが非常に重要で、板書の見やすさや、説明のわかりやすさに工夫した。重要な事項は繰り返し説明した。教員からの講義だけではなく、受講者と教員のやりとりも交えながら授業を進めた。アンケートでは、授業がわかりやすいと考えている学生が多く、さらに改善できるよう努めたい。

授業の難易度や授業内容の量が多いという回答を踏まえ、次年度からは、難易度を調整しつつ、課題の量を減らす方向で検討していきたい。

ピアノの初心者の中には難しいと思う学生もおり、曲の選択の幅をもう少し広げたいと思いました。

ピアノの初心者の中には難しいと思う学生がいる点で、あらかじめ練習の方法等を示すだけでなく、個々に指導できる時間を見つけていきたいと思いました。

問10の回答で「どちらともいえない」学生が1名いました。実物投影機でピントがぼけて読みにくかった授業の回がありました。改善をはかりたいと思います。話方や説明についても多少「忖度」して肯定的に答えてくれたようですが改善をはかりたいと思います。

学習内容をより深めるために授業外課題を出す必要もあるだろう。

前述したとおり、授業内容の「難易度を落とす、内容を簡単なものにする、課題の量を減らす」等を検討している。しかし教員免許に関わる授業において、学生からのアンケート結果を受けて安易で平易な方向へ合わせていくことには強く疑問を感じている。

概ね良好であると考えられるが、今後、他の授業でも自宅学習の時間についてももう少し質を求めることで自宅学習を行うような内容で指導したい。

パワーポイントなど授業資料を見やすくすること

よりフロー状態に持ち込めるように改善したい

同じ授業科目でも、人数が多いクラスは、内容が伝わりにくかったり、学生とのコミュニケーションが不足しがちなので、クラスによって内容を検討をしていく必要がある。

講義のテーマによっては、グループディスカッションも実施できればと考えています。

アンケート結果を見ると、学生たちで問題点を話し合ったり、自分なりの思考を展開したりして、次へつなげていく活動がやや足りなかったと感じた。制作後の鑑賞活動は行っていたが、こちらから一方的に授業を進めるのではなく、学生と更にコミュニケーションをとって進めていきたい。

今後、さらに学生のニーズを敏感にキャッチし、教育現場に精通した講義を心掛けたい。

『この授業で、新しい考え方や知識・技能が身についた』について「強くそう思う」と「ややそう思う」合わせて約95%~100%の回答が得られたこと、『授業の難易度』について「ちょうどよい」約90%・「難しい」約10%の回答が得られたこと、『授業で習得したことがらについて、自らの表現で伝えることができる』について「強くそう思う」と「ややそう思う」合わせて85%の回答が得られたことから、教員の意図と学生の学びが概ね噛み合ったと理解している。今後は、現在の授業の方向性を洗練させて、より学生の学習意欲を喚起できるように工夫を重ねたい。

この授業を通して自分なりの思考を展開することに繋がらなかった(問3)という回答者が数名いたため、この授業だけではなく他の関連項目にもつながるようなものにしていくことが必要である。

授業を受けて新しい考え方や知識・技能を身につけ、多様な考え方ができるようになったようであり、学生のみならず積極的に受講した結果、新たな発見や気づきを得たことはよかった。しかし、授業内では確かに積極的な参加態度が見られたが、授業以外での取り組みは少ないようである。さらに音楽に関わり、幅広い知識や音楽的経験を深め、音楽の授業をするにあたっての研鑽を積むことができるよう、課題設定などを考慮したい。

「毎回たくさんの準備をして、私たちのために濃い授業をしてくださいました」「ユニバーサルデザインをしっかりと取り入れた授業であったと感じます」と嬉しいコメントをいただきました。授業方法を伝えたいこの2点は継続していきます。

話がわかりにくいことがあったとのご意見は、これから気をつけていきたいと思います。初めてのことは理解しにくいものです。皆さんの様子を把握して授業を進めて行きます。わからなかったらその場で質問ができる様に前もってお話しておくのと言いやすい雰囲気をつくるようにしたいと思います。

授業に集中していただきたいので、最初に携帯電話は電源を切るかマナーモードにすることを約束しています。今年の夏はとても暑かったです。同様に授業のけじめをつけるために放課に水分補給をしていただきましたが、今年のような場合はOKということでやっていきます。

「授業で提示された課題・参考文献・資料などを自ら検索・参照した上で、自分で問題点を深く考えた。さらに、その考えに基づき行動した。」ところで、評価があまりよくないので、今後学生が深く考えることができるような課題・学習内容に改善していきたい。また、授業のための学習時間が低いので、今後課題の出し方を改善していきたい。